北海道コカ･コーラボトリング株式会社
〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目２番１号
〔URL〕 https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/

news release

2026 年 11 月 13 日

報道関係者各位

「北海道ｅ-水（イーミズ）プロジェクト」
第 17 回 北海道ｅ-水フォーラム開催

北海道コカ･コーラボトリング株式会社(本社：札幌市清田区　代表取締役社長：酒寄正太)は、2026 年 11 月 20 日（金）「第 17 回 北海道 e-水フォーラム」を下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。

「北海道 e-水プロジェクト」は、2009 年 11 月、北海道と当社との間で締結した「環境保全に関するパートナーシップ協定」に基づき、北海道の豊かで美しい「水」を中心とした自然環境を守り次世代へと引き継いでいくことを目的とし、北海道、公益財団法人北海道環境財団、当社の三者協働で取り組むプロジェクトです。

北海道e-水プロジェクト

当社が製造･販売する「『い･ろ･は･す』ペットボトル全製品」の売上の一部を(公財)北海道環境財団に寄付し、道内各地域で水辺の環境保全活動に取り組む団体および流域ネットワークの活動を支援するもので、2026 年で 17 年目を迎えました。

当フォーラムでは本年度の寄付金 8,774,729 円（累計寄付額 193,185,842 円）贈呈式をはじめ、本年度採択された活動団体（9 団体）の年間活動報告が行なわれます。

【第 17 回 北海道ｅ－水フォーラム 概要】

日時	2026 年 11 月 20 日（金） 16:00～18:15 （受付開始 15:30）
会場	札幌国際ビル 8 階 国際ホール 札幌市中央区北 4 条西 4 丁目 1 番地
お問合せ	公益財団法人 北海道環境財団 電話：011-218-7811
定員	150 名（参加費無料）e-水プロジェクトホームページより要事前申込み･先着順
内容	･寄付金贈呈式 ･2026 年度採択団体が活動内容を発表 （次世代コース：3 団体、e-水コース:5 団体+当社 e-水推進チーム 合計:9 団体） ※しずくコース（9 団体）にも発表いただきますが、行事全体時間の関係で後日、北海道 e-水プロジェクトホームページで資料や写真を公開いたします。
主催	北海道、公益財団法人北海道環境財団、北海道コカ･コーラボトリング株式会社

～北海道の環境を守る あなたの１本～



＜「い･ろ･は･す」ペットボトル製品 一例＞

「北海道ｅ-水プロジェクト」は、当社が製造･販売する「『い･ろ･は･す』ペットボトル全製品」の売上の一部を、(公財)北海道環境財団への寄付を通じて、北海道の水辺の環境保全を行っている活動団体を支援しており、2026 年で 17 年目を迎え、寄付金額※1 は 193,185,842 円、支援団体は延べ 231 団体となり、e-水の活動やネットワークは北海道全域に拡大しています。

※1 北海道ｅ-水プロジェクトの前身となる、北海道との「環境保護活動の推進に関する協定」に基づく寄付を含めた累計寄付額（2008年～2026年）

■　**別紙：2026 年度　北海道 e-水プロジェクト　支援団体（敬称略）**

・　対象となる団体：道内の水辺における環境保全事業を行う非営利の団体または流域ネットワーク

・　対象となる事業：道内の水辺（川、海、湖沼など）において環境保全活動を行う非営利の団体（または流域ネットワーク）が行う事業。

＜e-水コース（上限 200 万円）＞

団体名	事業名	活動地域	事業概要
特定非営利活動法人カラカネイトトンボを守る会あいあい自然ネットワーク	あいの里・みんなでつくるトンネウス沼	札幌市北区	札幌市北区あいの里のトンネウス沼は、多様な生物の生息地となっているが、水生植物が繁茂しやすく、陸化により、生息地損失の危機にある。当会では、トンボを指標生物に調査活動を行い、その結果と実際の沼の状況を踏まえながら、地域住民や企業と共に浚渫作業を行い、環境を維持している。また、昆虫採集教室を開催し、環境学習も行っている。これらの活動を通して、地域にある沼の環境に愛着を感じ、さらにその次の世代へ受け継がれることを目指す。
釧路水域保全の会	標茶町におけるキタサンショウウオの生息調査および保全・教育普及事業	標茶町	「釧路水域保全の会」は、乾燥化で失われつつある産卵地を取り戻すため、キタサンショウウオの卵のう調査で繁殖の現状を可視化し、未踏査域の踏査で生息域の空白を埋める。天敵分布や水位・水温を測り環境を診断したうえで、枯葉除去と浅場再生、産卵池造成により産卵適地を再生する。さらに域外保全と放流、フォーラム・展示を連動させ、保全の輪を地域に広げる。
チーム波心海	標津町水産教育イベント「うみちる」	標津町	本事業は、標津町の海、魚を中心とした水環境を題材に高校生が体験と対話を通して学ぶ教育プログラムである。高校1、2年生は地引網体験、サクラマスの遡上観察などの体験と地域内外の実践者との対話を重ねて、水環境への理解を深める。3年生は地域の魚を用いた商品開発、販売、成果発表を行い問題解決のための行動につなげる。様々な主体の協働により、水環境への関わりを次世代に継承する基盤をつくる。
特定非営利活動法人人まち育てI&I	エコツアーで湿地と北海道の水辺を未来につなぐ～教育・観光と連動したネイチャーポジティブ体験プログラムの実装～	石狩川中流域	石狩川中下流域の湿地は重要な自然資源である一方、その価値は十分に共有されていない。本事業では、昨年度の研修成果を踏まえ、大学・観光事業者と協働して湿地エコツアーを学習コンテンツ兼ツアーパッケージとして整備し、保全につながる体験型プログラムとして実装する。事前学習ツールの整備や食・モノづくり体験を開発し、学生・市民・観光客が楽しみながら湿地保全に関わる関係人口を創出する。
もっと釧路湿原	釧路湿原周辺における太陽光発電施設の適正導入に向けた取り組みと自然体験活動の実施	釧路湿原周辺域	市民団体「もっと釧路湿原」は、釧路湿原の自然の魅力や課題について対話し、交流できる場を創りたいと結成されました。自然環境の保護と太陽光発電施設の適切な設置を目指しています。水質汚染や希少種への悪影響などについて、必要な環境調査を行うとともに、専門家を招いて学習会を開催し、参加市民の意見を整理し、行政への要望を行っています。また親子の自然観察会や署名活動など、地域住民が主体となって行う活動を進めています。

＜次世代コース（上限 30 万円）＞

団体名	事業名	活動地域	事業概要
滝川高校しめっちレンジャーズ	都市の中の自然「石狩川空知川河畔林」で自然との共生を考えよう！ ～河畔林の役割と課題、河畔林を利用する野生動物の行動観察から～	滝川市	河畔林は水質浄化機能や野生動物の生息地として重要な役割を担う。石狩川中流域河畔林は市街地に隣接し身近な自然環境として親しまれているが、野生動物が回廊として利用することもあり、近年はヒグマ等の野生動物の市街地侵入など、人との軋轢が社会課題となっている。今回は石狩川周辺河畔林での植生樹種調査、野生動物観察調査から、多様な生物を育む河畔林の重要性を再確認しつつ、人との軋轢が生まれない保全を考える。
チトセコ	おかえりなさいサケプロジェクト	千歳市	高校生・大学生が主体となり、千歳サケのふるさと館および道の駅周辺の千歳川沿いで親子参加型のごみ拾いイベントを企画・運営する。回収したごみを題材に、マイクロプラスチックが水環境や生き物に与える影響を学ぶワークを実施し、楽しく学びながら水環境保全への理解を深める。バックヤードツアーを通じて、川と生態系のつながりを実感し、次世代の環境保全人材の育成を目指す。
立命館慶祥中学校高等学校 C-Rits	中高生が企画する持続可能な海岸清掃－日本一楽しい海岸清掃を実施！！－	羽幌町	従来の海岸清掃は、単発的な活動にとどまり、継続的な行動につながりにくいという課題がある。本企画は北海道焼尻島の海岸ごみ問題をテーマに、清掃を「作業」ではなく「体験」として再構築し、海の美しさや自然の価値を実感できる海岸清掃を実施する。中学生・高校生の視点から学びや遊び、交流を取り入れ、参加者が自ら「自然を守りたい！」と感じ、持続的な環境保全行動へとつながるように「日本一楽しい海岸清掃」を実施する。

＜しずくコース（上限 10 万円）＞

団体名	事業名	活動地域	事業概要
あさひかわサケの会	石狩川からプラスチックごみをなくすNPS活動	旭川市	「石狩川を野生のサケのふるさとに！」の願いを基に、石狩川水系の河川環境回復保全を希求し、「石狩川からプラごみをなくす『NPS運動』の市民啓発」の推進に取り組んでいる。海洋汚染防止を会員市民に呼びかけ、「春・秋の川クリーンウォーク」、「春・秋の橋下クリーン作戦」の実施。またコープさっぽろ『海のクリーンアップ大作戦』への参加など、河川上流部に生活する者として「海を汚さない意識」の醸成を求めて活動しています。
一般社団法人小樽セーリングクラブ	小樽の秘境「オタモイ海岸」ビーチクリーン活動	小樽市	2021年、22年、23年と開催していた小樽市での海洋・ビーチクリーン活動を再開します。ヨット競技団体の特性を活かし、ヨットやモーターボートに分乗して海からしか行けない地域でビーチクリーン活動を行い、水環境の保全と未来へときれいな水環境を残していく意識の醸成をすることを目的とします。活動後の収集した漂着ゴミの内容を発表して、団体メンバー以外にも啓発を行います。
クリーンアドプロジェクト	クリーンアドプロジェクト	余市町	余市町の海をはじめ川・山・湖など水の循環場所を中心に、「コミュニティ参加者」や「余市町滞在者」、「環境保全」に興味関心がある方が集い、新たな交流も含めた清掃活動を行う（他府県で同時に清掃活動を行うオンライン開催も）。地域活性の一環として、清掃活動後は余市町内の飲食店で交流会を開き、余市町内のお店の認知と利用促進も目指す。ゴミ問題や自然保全への理解や意識変化を生むイベントやワークショップも開催予定。

※「しずくコース」つづき

団体名	事業名	活動地域	事業概要
水車・アヤメ川自然公園を育てる市民の会	水車・アヤメ川自然公園で「楽しむ・守る・学ぶ」好循環（サイクル）を創り出そう	伊達市	この公園は、昭和58年に市民の手で守られた貴重な水辺です。最近は知られるようになってきましたが、これからも自然を残していくためには、より多くの人に「利用する」だけでなく「守る」仲間になってもらうことが大切です。そこで、観察会（学ぶ）、イベント（楽しむ）、整備（守る）を組み合わせた活動を行います。「楽しいから参加する」ことが自然と「守る」ことにつながるようなサイクルを作り、みんなで公園を育てていきます。
特定非営利活動法人ネイチャープログラムデザイン	滝野さとやま探検隊2026 森のしずくが川をはぐくむ	札幌市南区	札幌市南区滝野の森とアシリベツ川を舞台に、主に小学生を対象に体験型環境教育を実施します。1回目はリバーハイクと生物調査で川の豊かさを体感。2回目はツリークライミング、森林整備、ろ過実験を通じて、健全な森が良質な水を作る「森と水の循環」を学びます。遊びと実体験を軸に、「森のしずくが川を育む」仕組みを理解し、次世代を担う子どもたちの自然保護への意識と主体性を育みます。
羽幌町観光協会	焼尻島 海のゴミ清掃活動	羽幌町	2026年7月を「海のゴミ清掃活動月間」として羽幌町観光案内所で清掃用具の配布・回収を行う。期間中、清掃活動を希望する参加者は自由に活動できる。あわせて焼尻島白浜海岸で一斉清掃を行う。各活動を記録・発信し、持続的な海のゴミ清掃活動につなげる。
盤渓癒しの里山づくりプロジェクト委員会	ビオトープの森づくり	札幌市中央区	①せせらぎ（約50m）の雪解け水での川底が洗堀ヶ所を瀬と淵を設置しザリガニ、サンショウオ、水生昆虫等の生息環境の改良と維持管理 ②乾燥化が心配されるニか所の湿地保全のため、森林内の湧水を利用した池の設置や乾燥化の原因のササやイタドリの駆除作業をや実施し、乾燥防止と鳥類や小動物の餌場づくりによるビオトープの森づくりに取り組み ③湿地、せせらぎを利用した子供たちへの自然観察の場所の提供
NPO法人 ビオトープ・イタンキ in 室蘭	「獲物のあるビオトープ」での自然体験学習	室蘭市	潮見公園に造成し保全を行っているビオトープにおいて、子ども達が自由に遊び採集もできる自然体験の「場」を提供・整備し、市内の小学校などによる自然体験学習会を開催して、子ども達に地域の自然環境や、自然科学の楽しさと素晴らしさ、生命の尊さを学んでもらう活動を行います。自然体験学習を通じて生息生物のモニタリングを行い、生物多様性を示す資料を作成して、将来的に環境省の自然共生サイトへの登録を目指しています。
富良野の自然に親しむ会	富良野盆地の原風景・鳥沼湿地林再生プロジェクト	富良野市	鳥沼公園は富良野盆地開拓当時の原生的なハンノキの湿地林など貴重な自然環境が遺されているが、近年乾燥化が進み、ヘイケボタルが見られなくなるなど環境の悪化が進んでいる。2025年から北海道e-水プロジェクトの支援を受けながら、鳥沼公園の保全をめざすプロジェクトを進めている。本年度も市民の参加協力を得ながら、昨年設置した地下水位計の計測結果等を収集・解析をすすめ、保全策の検討を進めたい。






（今年度の採択団体活動風景）

私たち北海道コカ・コーラグループは、「北の大地とともに」をスローガンに、人々にさわやかさと潤いを届ける「どさんこ総合飲料メーカー」として、北海道の豊かな自然と地域ごとに魅力あふれる暮らしを未来につなげるため、「スマイルで暮らせる北海道」を道民の皆様とともに目指します。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
北海道コカ・コーラボトリング株式会社　広報・サステナビリティ推進部　担当：伊藤
お問合せフォーム：https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/form/

＜お問合せフォーム＞

■ **参考 1　活動の源である「い・ろ・は・す」ペットボトル全製品について**

- 北海道コカ・コーラボトリング㈱で製造販売される「い・ろ・は・す」ペットボトル全製品は、当社札幌工場の地下、深さ約 300 メートルの井戸からくみ上げた札幌市清田区南西方向にある白旗山方面から、長い年月をかけて深い地下をゆったり流れてきた天然水で、厳しい品質管理を経て皆様にお届けしております。

■ **参考 2　北海道e-水プロジェクト とは？**

- 北海道には豊かな水資源とそれを取り巻く美しい自然があります。この北海道の恵まれた水とそれを含む自然環境を道民全体で保全し、未来に引き継いでいくため、道民、事業者、行政の協働のもとで地域における水辺の環境保全活動に取り組む事業が「北海道ｅ-水プロジェクト」です。
- エコロジーをイメージする「ｅ」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、「北海道ｅ-水（イーミズ）プロジェクト」と名付けました。

■ **参考 3　累計寄付金額**

2008～2025 年　寄付額実績	184,411,113 **円**
2026 年　寄付額	8,774,729 円
寄付額累計	**193,185,842 円**

■ **参考 4「水循環 ACTIVE 企業」に 3 年連続で認証されました（2026 年 10 月 30 日）**

- 「水循環 ACTIVE 企業」について
  「水循環 ACTIVE 企業」は、内閣官房水循環政策本部事務局が、2024 年に創設した「水循環企業登録・認証制度」で認証された企業のことです。本制度は、直近 3 年以内に、水循環に資する取組実績を有し、実績を証明できた企業が認証を受けることができます。
- 当社活動の評価ポイント
  水を使った製品を製造する会社として、流域や森林、豊かな自然環境、生態系の保全などに取り組む団体をサポートする「北海道ｅ-水プロジェクト」の仕組みや、水源域における森林整備・保全の活動等が評価されました。
  認証項目として「水量水質カテゴリー」と「人材資金カテゴリー」の 2 部門で評価される制度となっており、当社はどちらのカテゴリーも 3 年連続で認証されております。

（認証ロゴマーク）



北海道e-水プロジェクトは、北海道の豊かな水環境を未来へつなぐため、17年間にわたり活動を続けてきました。
第17回北海道e-水フォーラムでは、道内各地で水環境保全に取り組む団体や若者たちが集い、それぞれの活動成果や地域の魅力、未来へのアイデアを発表します。
川や湖、海を守るためにどのような活動が行われているのか。地域の人々や若者たちがどんな思いで取り組んでいるのか。普段なかなか知ることのできない現場の声を、直接聞くことができます。
北海道各地で広がるさまざまな取り組みに触れ、水環境や地域の未来について一緒に考えてみませんか。
皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

「特定非営利活動法人カラカネイトトンボを守る会あいあい自然ネットワーク」の活動「トンネウス沼の環境整備」

第17回 北海道e-水フォーラム

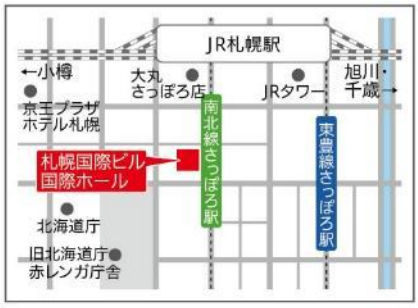
2026年11月20日(金) 16:00～18:15

(受付開始15:30～)

※例年より実施時間が早くなっています。

会場 札幌国際ビル8階 国際ホール

札幌市中央区北4条西4丁目1番地
地下鉄南北線さっぽろ駅8番出口直結



参加費 無料(定員150名)

要事前申込み | 先着順

右記のお申込みフォームから
お申込みください。

お申込みフォーム

2026年活動団体発表

()内は主な活動地域

〈e-水コース5団体〉
①NPO法人カラカネイトトンボを守る会あいあい自然ネットワーク(札幌市)
②釧路水域保全の会(標茶町)
③チーム波心海(標津町)
④NPO法人人まち育てI&I(石狩川中流域)
⑤もっと釧路湿原(釧路湿原周辺域)

〈次世代コース3団体〉
⑥滝川高校しめっちレンジャーズ(滝川市)
⑦チトセコ(千歳市)
⑧立命館慶祥中学校高等学校 C-Rits(羽幌町)

〈特別枠〉
★北海道コカ・コーラボトリング株式会社(札幌市)

※北海道e-水プロジェクトは、上記のほか「しずくコース」9団体にも助成しています。しずくコースの活動報告は、活動終了後本プロジェクトのホームページに掲載いたします。

参加者プレゼント

ご参加の皆さまに、「い・ろ・は・す北海道の天然水」540mlペットボトルを1本ずつプレゼントします。

北海道e-水プロジェクト

主　催：北海道コカ・コーラボトリング株式会社、北海道、公益財団法人北海道環境財団
お問合せ：北海道e-水プロジェクト事務局(公益財団法人北海道環境財団)
TEL:011-218-7811　E-mail:emizu@heco-spc.or.jp

※北海道e-水プロジェクトは北海道コカ・コーラボトリング株式会社、北海道、公益財団法人北海道環境財団の協働事業として、北海道の水環境保全活動に取り組んでいます。
※「い・ろ・は・す」ペットボトル企製品」の売上の一部は、「北海道e-水プロジェクト」の活動資金として活用されています。

